

現代経営学応用研究（アントレプレナーシップ基礎）

目的

起業家活動(アントレプレナーシップ)をテーマに、創業から成長までのプロセスを、アカデミックな理論、ビジネスケース、ビジネスプランニングの技法(リーンスタートアップ)から学ぶ。今回はコンパクトなスケジュールになりますので、Web ビジネスに絞った事例を使います。

1. 世界的に知られている起業家活動のアカデミックな基本理論を学ぶ。シュンペーター、カーズナー、シェーン等の著作から概念を抑える。
2. アイデア生成とビジネスモデル構築の方法を体験する。
エリック・リースの「リーンスタートアップ」の中心的コンセプトである MVP(必要最低限の製品サービス)を理解し、それに則って最も汎用的に使われているツールである Business Model Canvas を使ってみる。
3. 経営資源の投入、組織デザイン、戦略立案をビジネスケースから学ぶ。
日本とシリコンバレーのビジネスケースから起業プロセスを確認し、日米の差異を具体的に実感する。また、失敗するスタートアップとは、どこに問題が起きやすいのかを考察する。
4. 起業の聖地であるシリコンバレーとはどのような起業エコシステムがあるのか、また、エンジェル投資やベンチャーキャピタル投資とはどのような仕組みになっているのかを理解する。

使用教科書（購入してください）

「起業プロセスと不確実性のマネジメントー首都圏とシリコンバレー の Web ビジネスの成長要因」田路則子 白桃書房 2020 年

各週の計画

事前に、教科書 6 章のグラモの事例を読んできてください。

第一週: 10 月 8 日 (土) 対面

Part1. 起業家とスタートアップの概念

(シュンペータ、カーズナー理論、起業意思—行動モデル、ノービス、シリアル、アカデミック・スタートアップ)

教科書第 1 章の内容を学ぶ。

参考文献：

シュンペータ (清成忠男編訳『企業家とは何か』東洋経済新報社,1998 年)

Shane, S. (2000) “Prior Knowledge and the Discovery of Entrepreneurial Opportunities,”
Organization Science, Vol.11,No.4, pp.448-469.

Shane, S. (2003) A general theory of entrepreneurship: The individual-opportunity nexus,
Edward Elgar Publishing

Shane, S. and Venkataraman,S.(2000) “The Promise of Entrepreneurship as a Field of
Research,” *Academy of Management Review*, Vol.25,No.1,pp.217-226.

Part2. 起業プロセス—機会認識と成長 (グラモ社の事例)

議論：テキストの 144 頁—152 頁を読んで

シュンペータの新結合のどのパターンか？

過去の知識や経験が起業機会の認識にどう影響していたか？

起業機会の認識を、シュンペータとカーズナーの理論に照らしてみよう

Part3. ビジネス・プランニングの技法

アイデア生成 (Value Proposition Canvas)

参考文献：「リーン・スタートアップ」エリック・リース,日経 BP,2012 年

第二週への課題として、VPC に、自分のアイデアを記入してきてください。

及び、6章のエニグモの事例を読んできてください。

第二週: 10月29日(土) ZOOM

Part1. Value Proposition Canvas 発表

Part2. ビジネス・プランニングの技法

ビジネスモデルの構築 (Business Model Canvas)

Part3. 経営チーム

経営チームの構成と変遷、エニグモ社の事例

教科書第6章及び7章

議論: エニグモの経営チームについて

第三週の準備として、教科書2-5章を読んできてください。

第三週: 11月5日(土) ZOOM

Part1. 資金調達の方法

(投資ラウンド、資本政策、VC投資の仕組み、エニグモ社の事例)

議論: エニグモの資金調達について

Part2. シリコンバレーのエコシステム

教科書第2-5章

第四週の課題として、BMCを作成してきてください。

準備としてエフェクチュエーションの説明動画を見てきてください

- ・ A brief guide to Effectuation:2m52s

https://www.youtube.com/watch?v=oC-yWrC0P_E

自動翻訳機能あり

- ・ Principals of Effectuation:2m55s

<https://www.youtube.com/watch?v=GoLZGSHmkRI>

自動翻訳機能あり

第四週:11月12日(土) 対面

Part1. エフェクチュエーション理論による意思決定

(エニグモ社とグラモ社) 教科書第8章

Part2. 日米比較 (Bitzer 社とグラモ社)

Part3. Business Model Canvas 発表

最終課題は、終了後、二週間程度で提出してください。(別途アナウンスします)

- ・ BPC と BMC の最終バージョン
- ・ 事例比較の最終レポート